

平成 28 年度 活動報告

概況

平成 28 年度は発足後 3 年目に当たり、執行部は本協会の目的である日本・バングラデシュ両国の友好親善、相互理解の促進を図るべく、前年度に引き続き協会の基盤整備を図るとともに、協会の活動の充実及び認知度向上に努めた

本協会の会員数は、平成 28 年度末で個人会員 138 名（うち学生会員 12 名）、法人会員 28 社（うち非営利法人会員 3 社）となった。前年比でみると、個人会員は 3 名増であるが、これは 14 名の新規会員増に対して、バングラデシュ関係のポストから離れたことなどの理由から退会者が 11 名あったためである。また法人会員は 11 社（うち非営利法人 1 社）の増加であった。

平成 28 年度には、「企業情報交換会」を開始した。これは、本協会会員である先行企業から、新たにバングラデシュに進出を検討している企業、或いは進出したばかりの企業に対し、現地で遭遇し、もしくは遭遇するであろう諸問題について、関連の情報ないし経験を紹介する機会として設けられた。またこの活動を通じて、本協会の会員増加も目指している。

その第一段階として、2016 年 6 月 22 日に日本貿易振興機構（ジェトロ）の後援を得て、バングラデシュ大使館との共催で「バングラデシュ投資セミナー」を開催し、会場のバングラデシュ大使館ホールの最大収容数である 130 名の参加を得た。このセミナーの席上において上記「企業情報交換会」の設立が決定された。

上記セミナーの 8 日後の 2016 年 7 月 1 日、ダッカのレストランにおいて 7 名の JICA 専門家を含む 24 名（内外国人 18 名）が犠牲となるテロ事件が発生した。企業情報交換会は緊急会合を開催し、各企業が有している情報や講じた安全対策についてタイムリーな情報交換を行うなど、平成 28 年度内に計 6 回の会合を開催した。

7 月 1 日のテロ事件の半年後の 1 月 24 日に、ジェトロ共催による第 2 回セミナー「バングラデシュ・ビジネス環境セミナー」が開催され、同事件によってバングラデシュとのビジネスを中断され、現地情勢についての情報がなく困っている企業に対し、現地情勢に詳しい専門家から最新の情報の提供が行われ、高い評価を受けた。この活動を通じて、新たに 13 社の新規入会があった。

2015 年 8 月に理事会の承認を得て設立された月例の「事務執行定例会議」は、11 回開催され、協会運営の迅速化に寄与している。専用 PC、事務補助要員 1 名の助けを得て、協会事務処理、関連書類のファイル整備を引き続き進めた。

理事会は5回開催され、協会運営に係わる諸事項について、各担当理事を定めて管掌し、理事の職務執行が法令及び定款に適合して行われ、その他一般社団法人の業務の適正を確保するための体制確立に務めた。

財務的には2017年3月26日のバングラデシュ独立記念日を期して、故早川崇代議士の夫人早川元枝様より、協会に対し100万円の寄付を頂き、協会を代表して会長より深甚な謝意を表した。この寄付によって協会の収入295万円となり、他方、支出は150万円で、前期からの繰り越しと併せ、協会資産は276万円となっている。

1. 事業報告（すべて敬称略）

① 講演会事業

2016年

- (1) 4月28日 石井 一 （元 国務大臣・国土庁長官、元 自治大臣・国家公安委員長）
「ダッカ日航機ハイジャック事件の舞台裏－1977年日本赤軍ダッカ日航機ハイジャック134時間」
- (2) 5月31日 笹路 健 （経済産業省 通商政策局 南西アジア室長）
「日本とバングラデシュの経済関係について」
- (3) 9月7日 加藤 剛志 （株式会社資生堂サステナビリティ戦略部）
「化粧の力」を活かして自分らしく生きたいと願うバングラデシュ女性の幸せの実現に貢献」
- (4) 10月28日 石山 民子（アジア砒素ネットワーク理事）
「農村部にも広がる「生活習慣病：NGOの役割・企業への期待」
- (5) 11月30日 野呂 元良（本協会理事、日本マラウイ協会会長、元マラウイ共和国特命全権大使）
「第一部：詩聖タゴールの哲学に学べ 第二部：詩聖タゴールの日本文明論」

2017年

- (6) 2月24日 竹内 卓朗（JICA 南アジア第四課 課長）
「バングラデシュ支援概況～投資環境改善に向けた取り組み～」

② 企業情報交換会

2016年

- (1) 6月22日 第1回セミナー 「バングラデシュ進出企業の課題」
（共催：バングラデシュ大使館、後援：日本貿易振興機構）
- (2) 7月22日 企業情報交換会緊急会合 「ダッカテロ事件に関する情報交換会」
- (3) 9月21日 第2回企業情報交換会 「7月テロ事件、その後の情報交換会」

(4) 12月21日 第3回企業情報交換会 「安全管理に関する情報交換会」

2017年

(5) 1月24日 第2回セミナー 「Bangladesh・ビジネス環境セミナー」

(6) 3月15日 第4回企業情報交換会 「各社が抱える近況の課題」

③ メール・マガジンの発行

2016年

第21号(4月号) 「イスラム教国教化見直しの却下、原理主義の見直しと危険情報の見直しについて」、「Bangladeshの名前を持つ私』PART 1」、「我が青春のBangladesh」

第22号(5月号) 「新Bangladesh大使館における最初の講演会」
「モスリンロードを知っていますか？」

第23号(6月号) 「ハティア島へのコミュニティー・ラジオ局およびラジオの寄贈」
「コメと肥料と電力と」
「Bangladeshの名前を持つ私」PART 2

第24号(7月号) 「第3回日本Bangladesh協会社員総会の開催」
「Bangladesh投資セミナーを終えて」

第25号(8月号) 「若者たちの正義感とテロ事件を考えるセミナーの開催」
「Bangladesh進出企業として」

第26号(9月号) 「カハル・アート展とBangladeshの芸術展示会」
「Bangladeshの底力を信じる」

第27号(10月号) 「再びBangladesh観光振興について」
「Bangladesh探訪 : ウットラ EPZ とバハルプール仏教遺跡」
「日本・Bangladesh友好の母・ブイヤン・和子先生を語る」

第28号(11月号) 「Bangladeshで2週間暮らした女子高生の成長の記録」
「ダッカのテロ事件とBangladeshの若者たち」
「Bangladeshに於ける国際エンゼル協会の活動」

第29号(12月号) 「Bangladesh再訪」 「私のダッカ滞在記」
「July terror attack and the riddle of Saifullah Ozaki」

2016年

第30号(1月号) 「Bangladesh国立博物館の大きな変貌」、
「国際ベンガル学会第4回大会(4th ICBS)開催の意義をめぐって」

「私にとってのBangladeshとは」
第31号(2月号) 「Bangladesh・ビジネス環境セミナー」の開催、
「Bangladeshの映画」「現地だより」

第 32 号 (3 月号) 「バングラデシュにおける忍び寄るイスラム主義について」、
「2016 年度 アジア・オセアニア進出日系企業実態調査報告」
『現地だより』: 国際リンクス バングラデシュダッカ事務所長」

2. 総会・理事会・定例会議の開催

I 社員総会

1 第 3 回社員総会・懇親会 2016 年 6 月 25 日 品川カンファレンスセンター

II 第 3 期 理事会

1 第 1 回理事会 2016 年 5 月 25 日 虎ノ門いきいきプラザ
2 第 1 回臨時理事会 2016 年 6 月 25 日 品川カンファレンスセンター
3 第 2 回理事会 2016 年 9 月 3 日 神明いきいきプラザ
4 第 3 回理事会 2016 年 11 月 25 日 神明いきいきプラザ
6 第 4 回理事会 2017 年 2 月 25 日 渋谷勤労福祉会館

III 第 3 期 事務執行定例会議

1 第 1 回事務執行定例会議 2016 年 4 月 13 日 千代田プラットフォーム
2 第 3 回事務執行定例会議 2016 年 5 月 19 日 千代田プラットフォーム
3 第 3 回事務執行定例会議 2016 年 7 月 15 日 千代田プラットフォーム
4 第 4 回事務執行定例会議 2016 年 8 月 12 日 三田いきいきプラザ
5 第 5 回事務執行定例会議 2016 年 9 月 27 日 三田いきいきプラザ
6 第 6 回事務執行定例会議 2016 年 10 月 14 日 白金台いきいきプラザ
7 第 7 回事務執行定例会議 2016 年 11 月 5 日 神明いきいきプラザ
8 第 8 回事務執行定例会議 2016 年 12 月 14 日 三田いきいきプラザ
9 第 9 回事務執行定例会議 2017 年 1 月 19 日 白金台いきいきプラザ
10 第 10 回事務執行定例会議 2017 年 2 月 17 日 虎ノ門いきいきプラザ
11 第 12 回事務執行定例会議 2017 年 3 月 15 日 カフェミヤマ渋谷公園通り店